

報告第15号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について(平成21年6月23日議決)の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第2項の規定により報告する。

平成28年9月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 損害賠償の額を定めることについて

専決第12号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成21年6月23日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成28年8月23日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事故区分及び 事故発生年月日	物損事故 平成28年4月6日（水）午前8時40分頃
事故発生場所	兵庫県豊岡市正法寺147番5 地先 市道高屋戸牧線
相手方の 住所氏名	■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■
損害賠償額	金 48,870円 也
事故の概要	相手方が自転車で市道高屋戸牧線を北から南方面へ 通学中に、道路側溝蓋不全箇所（コンクリート蓋が持ち 上がっていた）に乗り上げて転倒し、自転車及び学 生服を損傷したもの。 (過失割合 豊岡市9割：相手方1割)

報告第 16 号

平成 27 年度決算に係る実質赤字比率、連結実質赤字比率、
実質公債費比率及び将来負担比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年法律第 94 号。以下「法」という。）第 3 条第 1 項の規定により、平成 27 年度決算に係る実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）を、別紙監査委員の意見を付けて報告する。

平成 28 年 9 月 2 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.82)	— (16.82)	12.6 (25.0)	112.5 (350.0)

(注) () 書きは、法第 2 条第 5 号に規定する早期健全化基準で、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第 7 条に定める数値である。

平成 27 年 度

豊岡市財政健全化審査意見書

豊岡市監査委員

平成 28 年 8 月 22 日

豊岡市長 中 貝 宗 治 様

豊岡市監査委員 多 根 徹
豊岡市監査委員 上 野 和 美
豊岡市監査委員 嶋 崎 宏 之

平成 27 年度決算に係る財政健全化審査の意見提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度決算に係る実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について審査したので、次のとおりその意見を提出します。

平成 27 年度決算 財政健全化審査意見書

1. 審査の概要

この財政健全化審査は、市長から提出された平成 27 年度決算に係る実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2. 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

(単位：%)

健全化判断比率	平成 27 年度	平成 26 年度	前年度対比	早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	—	—	11.82
② 連結実質赤字比率	—	—	—	16.82
③ 実質公債費比率	12.6	13.9	△ 1.3	25.0
④ 将来負担比率	112.5	110.8	1.7	350.0

(注) ①、②について、平成 27 年度及び平成 26 年度に実質赤字額及び連結実質赤字額が無いため、「—」と記載している。

(注) 早期健全化基準は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 2 条第 5 号に規定するもので、同法施行令第 7 条に定める数値である。

(2) 個別意見

① 実質赤字比率について

平成 27 年度の実質赤字比率について、昨年度に引き続き、実質赤字額は生じていない。

② 連結実質赤字比率

平成 27 年度の連結実質赤字比率について、昨年度に引き続き、連結実質赤字額は生じていない。

③ 実質公債費比率

平成 27 年度の決算に基づく実質公債費比率は、12.6%（前年度対比 1.3 ポイント改善）となっており、早期健全化基準の 25.0%と比較するとこれを下回っているが、今後とも実質公債費比率の低減に引き続き努力をされたい。

④ 将来負担比率

平成 27 年度の決算に基づく将来負担比率は、112.5%（前年度対比 1.7 ポイント増加）となっており、早期健全化基準の 350.0%と比較するとこれを下回っている。今後とも将来負担比率の低減に引き続き努力をされたい。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

報告第 17 号

平成 27 年度決算に係る資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年法律第 94 号）第 22 条第 1 項の規定により、平成 27 年度決算に係る資金不足比率を、別紙監査委員の意見を付けて報告する。

平成 28 年 9 月 2 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

1 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率 (%)	備 考
太陽光発電事業特別会計	—	76,617 千円
水道事業会計	—	1,748,096 千円
下水道事業会計	—	1,651,569 千円
農業共済事業特別会計	—	138,211 千円

(注) 備考欄は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第 17 条第 1 号及び第 3 号の規定による事業の規模を表す。

平成 27 年 度

豊岡市経営健全化審査意見書

太陽光発電事業特別会計
水道事業会計
下水道事業会計
農業共済事業特別会計

豊岡市監査委員

平成 28 年 8 月 22 日

豊岡市長 中 貝 宗 治 様

豊岡市監査委員 多 根 徹
豊岡市監査委員 上 野 和 美
豊岡市監査委員 嶋 崎 宏 之

平成 27 年度 太陽光発電事業特別会計・水道事業会計・下水道事業会計・
農業共済事業特別会計決算に係る経営健全化審査の意見提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 22 条第 1 項の規定に基づき、平成
27 年度決算に係る資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類に
ついて審査したので、次のとおりその意見を提出します。

平成 27 年度 太陽光発電事業特別会計・水道事業会計・下水道事業会計・
農業共済事業特別会計 経営健全化審査意見書

1. 審査の概要

この経営健全化審査は、市長から提出された平成 27 年度決算に係る資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

2. 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

記

① 資金不足比率

特別会計の名称	平成 27年度	平成 26年度	前年度 対 比	経営健全化 基 準	備 考
太陽光発電事業特別会計	—	—	—	20.0%	76,617千円
水道事業会計	—	—	—	20.0%	1,748,096千円
下水道事業会計	—	—	—	20.0%	1,651,569千円
農業共済事業特別会計	—	—	—	20.0%	138,211千円

(注) 平成 27 年度及び平成 26 年度決算で資金不足額を生じていないため、「—」と記載している。

(注) 備考欄は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第 17 条第 1 号及び第 3 号の規定による事業の規模を表している。

(2) 個別意見

資金不足比率について

平成 27 年度の資金不足比率は、昨年度に引き続き、いずれの会計も資金不足額を生じていないため該当が無く、経営健全化基準の 20.0%と比較すると、良好な状態にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

報告第18号

放棄した債権の報告について

豊岡市債権の管理に関する条例（平成26年条例第51号）第13条第1項の規定により別紙のとおり放棄したので、同条第2項の規定により報告する。

平成28年9月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

債権放棄調書（都市整備部 建築住宅課）

債権の名称・種類	住宅使用料		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※死亡	3,045,500	6	156
	※生活困窮	1,086,900	1	43
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		2,108,200	4	103
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		6,240,600	11	302

債権放棄調書（都市整備部 建築住宅課）

債権の名称・種類	住宅共益費		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※死亡	50,680	1	26
	※生活困窮	74,000	1	37
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		124,680	2	63

債権放棄調書（都市整備部 建築住宅課）

債権の名称・種類	住宅建設資金貸付金		私債権		
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日				
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)	
	第 1 号(生活困窮)	0	0	0	
	第 2 号(破産法)	0	0	0	
	第 3 号(消滅時効)	※死亡	7,606,280	3	395
		※生活困窮	9,437,090	3	440
	第 4 号(限定承認)	0	0	0	
	第 5 号(法的処理後)	0	0	0	
	第 6 号(徴収停止後)	0	0	0	
合計		17,043,370	6	835	

債権放棄調書（都市整備部 建築住宅課）

債権の名称・種類	住宅改修資金貸付金		私債権		
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日				
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)	
	第 1 号(生活困窮)	0	0	0	
	第 2 号(破産法)	0	0	0	
	第 3 号(消滅時効)	※行方不明	842,744	1	82
		※死亡	342,590	1	45
	第 4 号(限定承認)	0	0	0	
	第 5 号(法的処理後)	0	0	0	
	第 6 号(徴収停止後)	0	0	0	
合計		1,185,334	2	127	

債権放棄調書（教育委員会 教育総務課）

債権の名称・種類	学校給食徴収金		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※行方不明	364, 271	11	20
	※死亡	35, 015	2	2
	※生活困窮	3, 964, 388	34	180
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		4, 363, 674	47	202

債権放棄調書（上下水道部 水道課）

債権の名称・種類	水道料金		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数 (水栓数)	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※行方不明	11, 459, 635	559	4, 659
	※死亡	4, 350, 793	105	1, 382
	※破産	1, 367, 997	19	167
	※倒産	7, 745, 690	68	388
	※解散	6, 751	1	10
	※転出	8, 714, 979	451	3, 852
	※生活困窮等	8, 665, 147	152	1, 625
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		42, 310, 992	1, 355	12, 083

債権放棄調書（上下水道部 水道課）

債権の名称・種類	簡水施設損害弁償金		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※生活困窮	66,801	1	1
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		66,801	1	1

債権放棄調書（上下水道部 水道課）

債権の名称・種類	統合簡水加入金		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※転出	39,000	1	1
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		39,000	1	1

債権放棄調書（上下水道部 水道課）

債権の名称・種類	受益工事収益		私債権	
債権放棄年月日	平成 28 年 3 月 31 日			
放棄の根拠規定 (豊岡市債権の管理に関する 条例第 13 条第 1 項適用規定)	特記事由	金額(円)	人数	件数 (期数)
第 1 号(生活困窮)		0	0	0
第 2 号(破産法)		0	0	0
第 3 号(消滅時効)	※行方不明	21,000	1	1
	※破産	13,335	1	1
	※生活困窮等	9,056	1	1
第 4 号(限定承認)		0	0	0
第 5 号(法的処理後)		0	0	0
第 6 号(徴収停止後)		0	0	0
合計		43,391	3	3

報告第19号

豊岡まちづくり株式会社第21期の決算及び第22期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のと
おり報告する。

平成28年9月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

平成28年6月28日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第21期

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第21期（平成27年度）事業報告

事業概況

平成27年度につきましては地場の景況感は総体には横ばい状態で推移しましたが、後半若干の下振れ感を持ちながら年度末を迎えました。ただ、城崎を始めとします観光地はインバウンドを含め観光客数が前年度を上回り、当社におきましても来店されますお客様の多くがカバンストリートを訪れる観光客の方々であり、前年度より2,000人増の年間18,000人の来店者があり、オープン2年目を迎えましたアルチザンにとりましてもステップアップし、地歩を固めつつある1年となりました。

アトリエ(ショップ)におきましては、豊岡鞆、豊岡産鞆とも各企業様の定期的な新作の投入により、商品の停滞感を払拭させアルチザン店内の空気の流れを創ることが出来、お客様にも、豊岡のカバンの良さ、楽しさを感じ取って頂いたのではないかと思います。

また、新たな取引メーカーも2社増え、豊岡の鞆企業の方にも、アルチザンを認めて頂いて来ているものと考えます。8月には兵庫県鞆工業組合様が、毎年東京で開催していた豊岡カバンサローネをアルチザンにて開催され、多くのデパートバイヤーや関係者の方が豊岡を訪れられ盛況を博しました。今後もアルチザンが色々な鞆企業や関連企業の皆様の交流、接点の場になれば「まちづくり」にも資することになると考えます。

スクールにおきましては、昨年の第1期生は地元但馬からも3名の生徒が入学しましたが、平成27年度第2期生につきましては、県下は神戸の1名で南は福岡、北は北海道まで広く全国から9名の生徒が入学されました。これも当スクールが全国的により認知されたものと考えます。そしてこの9名は1年間寝食を忘れるほどの熱い気持ちで鞆の勉強に取り組み、東京、大阪など新しい道へ進んで行きました。その中で3名の生徒が地元豊岡の企業へ就職致しました。

また、平成28年1月には、3ヶ月の委託期間による豊岡市の「革製鞆・革小物生産能力育成委託業務」を受け、鞆産業における革製鞆・革小物の生産能力を上げるべく人材の育成への取組みとして、東京ハンドバッグ協会様を始めとする東京の多くの方々のご協力の下、当スクールにて革小物の製作実演を行い、延30名以上の豊岡企業の製作者の方々にご参加頂きました。これは豊岡鞆産業の新しい取組みへの試みであります。

給食配送事業におきましては、豊岡市より8月1日から2年8ヶ月間の学校給食センター給食配送業務を一般競争入札により応札し、第1年度の8ヶ月を執行致しました。

このように、平成27年度はアトリエとスクールのアルチザン事業と学校給食配送事業の2事業3部門での業務となりました。また、販売費及び一般管理費の内、ショップ部門に集計していました給与手当などの一部科目を、期末にて部門毎の損益がより実態を反映するように寄与率で部門毎に案分致しました。

部門別業績状況

アルチザン事業アトリエ部門では来客者数も前年度より12%増え、また、年度後半では良い商品、気に入った鞆であれば高くても購入されるなど、購買単価の上昇傾向が見られました。特に大型連休には大きく売上を伸ばしました。また、ビジネスバッグについては素材に拘らず年間通して需要があり集客に寄与しております。当店へのおお客様の多くは城崎、丹後半島などの観光客ですが、京阪神のお客様でアルチザンでの鞆購入を目的に日帰りであられる方も増えて来ており、アルチザンやカバンストリートの認知度も高まって来ているものと思います。

今期の売上高は対前年58,294千円に対しまして12,194千円増(20.9%増)と、デパート催事の売上もあり大きく伸びて70,489千円となりました。事業計画売上高64,347千円に対しましても6,142千円増(9.5%増)と上回りました。また、売上原価の4,268千円増、販売費及び一般管理費の623千円増がありましたが、営業利益は対前年7,824千円増の7,589千円となりました。

アルチザン事業スクール部門は前期より生徒が3名増え9名となってスクールの収入増になっております。また、今期は平成28年1月から3月までの期間で豊岡市の委託事業で「豊岡市革製鞆・革小物生産能力育成」業務契約を1,462千円で受注致しました。これは鞆産業において、革製鞆・革小物の生産能力を習得する人材育成事業を行い、市内の鞆産業を強化し、新たな雇用を生み出すことを目的にしています。当スクールでは革小物等の製作技術講習を行う為、東京のハンドバッグ協会様などのご協力を頂き、東京より先生をお招きして革小物の作成実演を行いました。そして30名余りの市内鞆企業の社員の方に参加して頂きました。

売上高はスクール生の授業料等と企業向け社員コースの講座収入、委託事業で13,037千円と対前年5,194千円増(66.2%増)となりました。販売費及び一般管理費は期末の部門毎の経費補正増と委託事業の経費増で4,327千円増の12,760千円となり、営業利益は277千円となりました。

学校給食配送事業給食配送部門につきましては、今年度一般競争入札により3年間の業務を受注し、第1年度は8月よりの7ヶ月間で業務委託料7,000千円となりました。4台の給食配送車を使用し、12名のパート従業員によって、小学校6校、中学校3校に給食を配送しました。今期も1年間遅配等のトラブルもなく、安全運転を徹底して交通事故も起こさず無事故で終えることが出来ました。

配送先及び配送車両が減少し、委託期間も短くなったので売上高は対前年6,844千円減の7,000千円となりました。販売費及び一般管理費では車両管理費等節約に努めましたが、期末の部門毎の経費補正増で6,638千円となり営業利益は対前年1,306千円減の356千円となりました。

総合業績状況

事業全体では、今期はTMCバッグ事業がなくなり、学校給食配送事業の売上も減少しましたが、アルチザン事業の増収で売上高は対前年9,220千円増の90,526千円となりました。営業利益は学校給食事業部門で減益となりましたが、アルチザン事業2部門で増益となり、対前年7,824千円増の7,589千円の増益となりました。経常利益は日本皮革産業連合会及びハローワークなどの補助金収入が5,852千円あり対前年8,747千円増の12,922千円となりました。税引前当期純利益も同じく12,922千円となり、前期末の税務上累積欠損金が9,222千円ありましたが、今期税引前純利益が欠損金を超えた為一部課税対象となり、税引後の当期純利益は対前年7,895千円増の11,859千円と黒字になり、繰越利益剰余金の累積赤字額30,740千円が18,880千円に縮小改善されました。

事業につきましては、今期アルチザン事業が2年目を迎え着実に実績を積み上げております。これも株主の皆様や関係各位の皆さまのご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。来期平成28年度、におきましても各事業共、より前進させ、アルチザン事業におきましては3年目にまります、更に足場を固め、各事業共、より前進させる所存であります。まちづくり会社として観光客誘引に向け事各地域観光拠点や商店街の皆様と連携しながら、役職員一丸となって業績向上に向けて、邁進して参ります。

以上

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位:千円)

区 分		第18期	第19期	第20期	第21期
アルチザン事業		0	1,870	66,137	83,526
内訳	ショップ	—	1,870	58,294	70,489
	スクール	—	—	7,842	13,037
かばん販売事業		855	1,534	1,324	—
朝市事業		—	—	—	—
駐車場事業		5,121	183	—	—
学校給食配送事業		13,295	12,829	13,844	7,000
合 計		19,272	16,417	81,306	90,526

◇営業成績の推移

(単位:千円)

区 分	第18期	第19期	第20期	第21期
営業利益	△2,895	△12,578	△234	7,589
経常利益	7,473	△5,688	4,175	12,922
当期純利益	7,262	△262	3,964	11,859
総資産	54,169	122,893	72,699	86,812
純資産	47,357	57,095	61,059	72,919

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	502株

(3) 役員の状況

	役職名	役員名
1	代表取締役	ゆり そうたろう 由利 總太郎
2	取締役	あさひ けんじ 朝日 健司
3	取締役	いのうえ たかとし 井上 隆俊
4	取締役	いわしたしろういち 岩下省一
5	取締役	うの たかや 卯野 隆也
6	取締役	きぬがわ かつのり 衣川 克典
7	取締役	きぬがわ ひでお 衣川 英生
8	取締役	きわだ ともなり 木和田 智成
9	取締役	さとう よしき 佐藤 芳樹
10	取締役	はしもと たかふみ 橋本 隆史
11	取締役	やまさき としゆき 山崎 俊幸
12	監査役	うきた まさひこ 浮田 昌彦
13	監査役	すぎもと まさのり 杉本 正憲

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社員	4	男 3名、女 1名
パート	14	男 12名、女 2名
合計	18	

貸借対照表

平成 28年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 72,124,424】	【流動負債】	【 12,423,654】
現金・預金	60,101,334	買掛金	5,784,820
売掛金	6,279,408	未払費用	43,848
未収入金	111,547	未払金	380,300
商品・製品	3,205,654	未払法人税等	1,060,000
材 料	1,302,427	未払消費税等	1,789,400
貯 蔵 品	970,084	前 受 金	3,140,000
立 替 金	180,000	預 り 金	225,286
仮 払 金	35,970	【固定負債】	【 1,469,346】
貸倒引当金	△62,000	長期未払金	1,469,346
【固定資産】	【 14,687,729】		
[有形固定資産]	[9,209,265]		
建 物	218,042		
建物附属設備	12	負債合計	13,893,000
構 築 物	1		
車両運搬具	469,510	純資産の部	
工具器具備品	8,220,899	【株主資本】	【 72,919,153】
土 地	300,801	[資 本 金]	[91,800,000]
[無形固定資産]	[2,198,604]	[利益剰余金]	[△18,880,847]
ソフトウェア	1,898,668	(その他利益剰余金)	(△18,880,847)
電話加入権	299,936	繰越利益剰余金	△18,880,847
[投資その他の資産]	[3,279,860]	(うち当期純利益)	(11,859,880)
出 資 金	30,200		
保 証 金	3,240,000		
長期前払費用	9,660	純資産合計	72,919,153
資産合計	86,812,153	負債・純資産合計	86,812,153

損 益 計 算 書

自 平成 27年 4月 1日

至 平成 28年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	83,526,980	
学校給食配送事業収入	7,000,000	90,526,980
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	4,467,588	
仕 入 高	37,014,814	
合 計	41,482,402	
期 末 棚 卸 高	4,508,081	36,974,321
売 上 総 利 益		53,552,659
【販売費及び一般管理費】		45,962,823
営 業 利 益		7,589,836
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	11,996	
受 取 配 当 金	800	
雑 収 入	5,852,389	5,865,185
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	532,840	532,840
経 常 利 益		12,922,181
税引前当期純利益		12,922,181
法人税、住民税及び事業税		1,062,301
当 期 純 利 益		11,859,880

販売費及び一般管理費

自 平成 27年 4月 1日

至 平成 28年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	額
給 料 手 当	20,959,637	
業 務 委 託 費	3,900,772	
法 定 福 利 費	2,509,520	
福 利 厚 生 費	108,166	
広 告 宣 伝 費	1,882,318	
運 賃	305,623	
旅 費 交 通 費	867,112	
交 際 費	619,031	
会 議 費	42,556	
車 輛 管 理 費	884,011	
通 信 費	318,672	
水 道 光 熱 費	1,400,151	
租 税 公 課	753,803	
消 耗 品 費	1,374,510	
事 務 費	1,314,952	
車 輛 賃 借 料	945,186	
保 険 料	653,470	
支 払 手 数 料	3,245,997	
負 担 金	189,692	
新 聞 図 書 費	4,409	
減 価 償 却 費	1,806,987	
販 売 促 進 費	64,846	
リ ー ス 料	174,000	
寄 附 金	1,000	
教 材 費	997,014	
雑 費	599,388	
貸 倒 引 当 金 繰 入	40,000	45,962,823
合 計		45,962,823

部 門 別 損 益

自平成27年 4月 1日 至平成28年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ部門	アルチザン・ スクール部門	学校給食配送 事業部門
I 売 上 高	90,526,980	70,489,490	13,037,490	7,000,000
II 売 上 原 価	36,974,321	36,974,321	0	0
III 売 上 総 利 益	53,552,659	33,515,169	13,037,490	7,000,000
IV 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	45,962,823	26,559,031	12,760,047	6,643,745
V 営 業 利 益	7,589,836	6,956,138	277,443	356,255

株主資本等変動計算書

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日
(単位：円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		繰越利益剰余金	利益剰余金		
当期首残高	91,800,000	△ 30,740,727	△ 30,740,727	61,059,273	61,059,273
当期変動額					
当期純利益		11,859,880	11,859,880	11,859,880	11,859,880
当期変動額合計	0	11,859,880	11,859,880	11,859,880	11,859,880
当期末残高	91,800,000	△ 18,880,847	△ 18,880,847	72,919,153	72,919,153

個 別 注 記 表

自平成27年 4月 1日 至平成28年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針
 - (1) 資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定額法
無形固定資産・・・定額法
 - (3) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。
 - (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
 - (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	3, 050, 443円
----------------	--------------

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式	当期末発行済株式数	1, 836株
------	-----------	---------

5. その他の注記

国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を控除して表示しております。

土地	26, 066, 398円
建物	71, 248, 946円
建物附属設備	25, 744, 945円
その他固定資産	<u>19, 711, 283円</u>
計	<u>142, 771, 572円</u>

監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第21期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

平成28年5月20日

監査役

浮田昌彦

杉本正憲

第 22 期（次期）事業計画及び収支計画

1 事業計画

平成 28 年度の当社事業は昨年に引き続き、アルチザン事業のアトリエ（ショップ）部門とスクール部門、そして学校給食配送事業部門の 2 事業 3 部門となります。

◇アトリエにつきましては

・平成 27 年度 総括（シーズン毎の売上分析）

年間通じて、来店客数が増加し 1 月を除いた 11 カ月において前年度売上より増加し年間を通じて前年度対比 2 割増加であります。当店のターゲットは観光客であるが実績においても連休が多い GW の 5 月、夏休みの 8 月、シルバーウィークの 9 月、そしてカニシーズンの 10~12 月等のシーズンで高い売上となっております。連休中には各日 200 人以上の来客がある日も多く、「カバンの街豊岡」が浸透していることが感じられます。また、そのお客様の増加に伴い青田商店街カバンストリートにおいても、鞆ショップが新たに 2 店オープンし合計で鞆関連のお店が 12 店舗となりました。街中を周遊される観光客の方も増加し、弊社が目指す「鞆を核とするまちづくり」に少しでも貢献できたかと思っています。

・平成 28 年度

お客様の満足を上げるためにもスタッフの商品知識のアップとディスプレイに気を使い少しでも顧客満足度を上げながら売上アップを目指したいと考えております。冬シーズンの店頭販売に関しては降雪により売上が大きく左右される為、EC サイトでの販売を強化すべく今年度の前半は EC サイトの外部コンサルタントを採用し販売方法等含め見直し改善を実施したいと考えます。

また、昨年度と同様、但馬地域の観光ルートとしての地位を確立できるよう観光地との連携を図ると共に、「豊岡まちなか」を回遊していただけるように努力することを改めて今年度の計画にしたいと考えます。

収益につきましては、売上は 4.5% 増の 7 3, 6 3 2 千円を目指します。販売費及び一般管理費で法定福利費の増加が見込まれるものの、営業利益として対前年 7 9 7 千円増の 7, 7 5 3 千円、経常利益でハローワークの雇用開発助成金の 1, 8 0 0 千円を含み 9, 5 5 3 千円を見込んでおります。

◇スクールにつきましては

前年度は 9 名の生徒でスタートし、豊岡にて就職 3 名、その他は各地にて就職もしくは独立を目指しております。平成 28 年度の入学生徒は大阪、愛知、山梨、栃木など昨年と同様全て但馬外で、鞆に対する熱い思いを持つ 8 名となりました。（10 名の生徒を合格とし前金を徴収したが家庭環境等の問題発生により 2 名が辞退）開校から 2 年間で授業カリキュラム等もほぼ確定しており、生徒の熱い期待に応えられるようによりレベルの高い、緊張感のあるスクールを目指しております。また、今年度は新たに東京より皮革製造等に強い講師を今年度限定で採用しており、企業社員向け講座にも力を入れるよう計画しています。さらに、講師が充実しているので各社に

一定期間、講師を派遣する講師派遣授業も予定しています。各方面で注目度の高い当スクールであるため、その注目度に恥じぬよう少しでも鞆業界、豊岡の発展に寄与したいと考えています。

収益につきましては、前年より生徒が1名減となりますが、社員コースの参加料収入、豊岡市の委託事業の豊岡市革製鞆・革小物生産能力育成業務の受託があり、売上高は24,433千円を見込んでおります。販売費及び一般管理費につきましては、革小物等委託業務における講師増員による業務委託費の増加もあり、営業利益は△1,537円、経常利益は日本皮革産業連合会の補助金2,000千円があり、463千円と想定しております。

◇学校給食配送につきましては

昨年度の8月から3ヶ年度の受託となり、昨年度は事業期間が8ヶ月でしたが、今年度は12ヶ月となり、売上高となる業務委託料は11,500千円となります。また、販売費及び一般管理費におきましても12ヶ月となるため、人件費、車輛管理費、車輛等賃借料が増え10,814千円となり、営業利益及び経常利益は共に686千円と見込んでおります。収益は修理等の車輛管理費の膨らみによって大きく異なってきますが、日々のメンテナンスを徹底し無事故で運行を行い無駄な出費を抑えるとともに、安心安全に給食を生徒児童へ届けることに専心致します。

2 総合収支計画

当期事業計画におきましては、売上高は対前年20.1%増の109,565千円を目指します。

販売費及び一般管理費ではアトリエ部門に集中していた人件費等の経費計上を業務割合により各部門へ案分し、より部門の損益が実態を反映できるようにいたしました。また昨年と同様に消耗品費、事務費などの経費の支出を出来る限り抑えていきます。ただ、スクール部門の委託事業における講師増員の人件費や設備費等の増加、また、学校給食配送事業における委託期間の4ヶ月増による車両管理費等の増加があり、販売費及び一般管理費は39.4%増で18,117千円の増加の64,080千円となります。

従いまして、営業利益は対前年688千円減の6,902千円になるものと考えており、経常利益につきましては日本皮革産業連合会の助成金減額等があり、営業外収益が対前年2,065千円減となりまして10,702千円、同じく税引前当期純利益も10,702千円になるものと見込んでおります。

また、昨年度で税務上の累積欠損が全額相殺されましたので、今年度は、当期利益の全額に対しまして法人税等の課税が発生します。よって税引後当期純利益は前期より大きく減となることが予想されます。また、資本の累積欠損はまだ残っており、引き続き資本の累積欠損を解消すべく努力いたします。

アルチザン事業も順調に推移して3年目を迎えます。更に確たる事業となるべく足場を固め、「豊岡の鞆」を全国に発信し続けることが豊岡の商店街や地域の活性化に寄与することになると考えます。また、営利会社としての使命の下、絶えずまちづくり会社としての目的と可能性を追求して行く所存であります。そのために役職員一丸となって邁進して参りますので、今後共ご指導ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

第22期(平成28年度)収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第21期	第22期						備 考	
	総 合	第22期 増減	総合(合計)	アルチザン アトリエ部門	アルチザン スクール 部門		給食配送 部門		
純売上高	90,527	19,038	109,565	73,632	24,433		11,500		
売上原価	36,974	1,609	38,583	38,583	0		0		
販売管理費	45,963	18,117	64,080	27,296	25,970		10,814		
内 訳	給料手当	20,960	4,557	25,517	12,967	5,496		7,054	第22期1名、7月より増員
	業務委託費	3,901	8,205	12,106	408	11,698		0	スクールは講師報酬
	法定福利費	2,510	592	3,102	3,070	0		32	社会保険料、労働保険料
	広告宣伝費	1,882	-672	1,210	610	600		0	第21期日経BP紙面広告 第22期ネットショップ広告
	消耗品費	1,375	322	1,697	1,420	267		10	ショップ:袋、チラシ他
	事務費	1,315	201	1,516	1,150	252		114	税理士顧問料他
	車両管理費	945	1,216	2,161	240	5		1,916	車検、燃料代
	車両等賃借料	653	765	1,418	0	0		1,418	給食配送車輛豊岡市より賃借
	その他	12,422	2,931	15,353	7,431	7,652	0	270	
営業利益	7,590	-688	6,902	7,753	-1,537	0	686		
営業外収益	5,865	-2,065	3,800	1,800	2,000	0		第22期アトリエ:ハローワーク 第22期スクールI:皮産連	
営業外費用	533	-533	0	0	0	0			
経常利益	12,922	-2,220	10,702	9,553	463	0	686		
特別利益	0	0	0	0	0	0	0		
特別損失	0	0	0	0	0	0	0		
税引前純利益	12,922	-2,220	10,702	9,553	463	0	686		

報告第20号

株式会社日高振興公社第22期の決算及び第23期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成28年9月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社 日高振興公社 第22期 事業報告

1 事業の経過及び成果

当事業年度における国内経済は、2014年4月の消費税率アップによる個人消費の減少が依然として続いており、企業の設備投資も思うように伸びず、ゼロ金利政策も景気回復には結びつきませんでした。一方で、訪日外国人旅行者は1,973万人と前年を632万人上回り、旅行消費額も、3兆4,771億円と自動車部品、鉄鋼製品につぐ年間輸出額産業となりました。

また、山陰海岸ジオパークエリアでは、APGN2015（第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク）が開催されたことで東南アジアからの関心が高まり、豊岡市全体における訪日外国人旅行者は3万4千人、前年の約2.3倍となりました。

しかしながら、冬季は全国的な雪不足により、神鍋高原エリアも近年にない状況となり神鍋スキー場の入山者は昨年を大きく下回り、8万4千人となりました。（△7万7千人）

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、様々なイベントの実施や神鍋高原のおみやげ開発などに取り組んで参りました。

兵庫県が地域創生事業の一つとして実施した「兵庫県特産品・温泉地おみやげ購入券」などの消費喚起事業の取組により、当施設でも特産品のPRに重点を置き販売促進に繋がることとなりました。

また、従業員の職務能力向上を図るため、道の駅巡りを行い、POPの訴求・イベント集客・バイキング演出・店舗展開等、個性ある道の駅作りのための研修を行いました。社員会議では、「道の駅」の①目的・機能について ②流行る道の駅とは… ③商品の差別化 ④坪単価・客単価向上のための係数管理について等 話し合いや勉強会を適時行いました。

このような取り組みを行うことにより、道の駅「神鍋高原」の来店客数は徐々に増え、162,804人（前年度：160,394人）となりました。

一方、「神鍋温泉ゆとろぎ」の入館者数は69,960人と、残念ながら前年度を1,816人減少する結果となりました。（前年度：71,776人）

結果、当事業年度における業績は、

売上高	227,490千円（前年度比550千円増）
営業利益	1,703千円（前年度比6,742千円減）
経常利益	3,228千円（前年度比6,452千円減）
当期純利益	3,017千円（前年度：9,469千円）

となりました。

地方創生事業の「兵庫県特産品・温泉地おみやげ購入券」、少雪対策誘致支援事業並びに豊岡市観光誘客促進緊急対策事業の「げんキング券」の活用は、道の駅全般に波及効果をもたらし、特に、おみやげ券による売店部門においては収支改

善に繋がりましたが、累積欠損金の早期解消を優先したく、誠に遺憾ながら、配当につきましては引き続き無配とさせていただきたいと存じます。

株主各位様には、何卒、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。
なお、部門ごとの活動状況・売上は、下記のとおりです。

(1) 道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

第7回神鍋高原キャベツ祭りにて、一般公募により道の駅「神鍋高原」マスコットキャラクターの愛称が神鍋甘藍（かんなべかんな）に決定。昨年度に続き、神鍋高原キャベツを使用した商品開発に取り組み、キャベツアイス・キャベツキムチを販売しました。

また、冷蔵ショーケースを購入、加工食品アイテムを増やした地域連携の一つとして西気明日のいしずえ会の大根・白菜・ネギを使った「キムチ」作りに取り組み、12月～2月末での販売数量は、約1,000個。売上額252千円となりました。

さらに、昨年1月から販売したキャベツチップも好評で、ほんまもん神鍋に続くヒット商品になりました。

○キャベツチップ 年間販売数7,491袋 売上額3,512千円

○ほんまもん神鍋 年間販売数13,150袋（5個入り）売上額8,547千円

“道の駅「神鍋高原」でしか購入できない商品”と位置付け、他店舗との戦略商品としてPB化を図りました。

② 飲食部門

『全但バス神鍋線利用促進イベント』に積極的に参加し、豊岡市本庁前に出向き、第1回乗って帰ろうデーと豊岡まちバルに出店しました。

この2月、新たに取り組んだ「神鍋冬物語女子会編」と称した女性向け鍋コース料理は大変好評でした。また、仕出しの「ジオランチ」は神鍋マラソンや冒険フォーラム等、地域イベントに多く利用いただきました。（年間1,050個 売上額590千円）

さらに、新商品として販売した、キャベツラーメン・但馬牛を使用した牛すじうどん・メガ盛り唐揚げ丼も好評で、成果が得られました。

③ 神鍋温泉ゆとろぎ部門

ゆとろぎ1周年記念イベント（4月26日）、入館者10万人達成イベント（9月13日）を開催しました。4月から毎月26日の風呂の日に合わせて千本引き、また、平日の閑散期の集客を目的に、11月から毎月第1・3水曜日を「レディースデー」として実施しました。（主に美容と健康に良いドリンクサービスの提供）

また、温泉の基礎知識「正しい入浴法」と「温泉の魅力」をアドバイスできる指導員「温泉ソムリエ」の資格を、館長・副館長ともに修得し、サービス面での向上を図りました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 20 期	第 21 期	第 22 期
売店部門	125,596	137,123	141,525
飲食部門	37,397	43,813	42,041
温泉部門	12,418	41,605	39,544
市受託料	5,052	4,398	4,379
合 計	180,463	226,939	227,488

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 20 期	第 21 期	第 22 期
経常利益	1,563	9,679	3,228
当期純利益	871	9,469	3,018
総資産	22,875	30,721	31,722
純資産	2,002	11,471	14,489

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	笠原 泰藏
専務取締役	久田 喜三郎
取締役	太田垣 秀典
取締役	小田根 厚芳
取締役	和藤 久喜
取締役	北村 豊治
監査役	井上 隆俊
監査役	廣田 勝彦

(4) 社員（従業員）の状況

区分	人数	構成
社員	4	男性 3 人、女性 1 人
パート	12	男性 1 人、女性 11 人
計	16	男性 4 人、女性 12 人

決 算 報 告 書

第 2 2 期

自 平成 2 7 年 4 月 1 日

至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

株式会社 日高振興公社

豊岡市日高町栗栖野 5 9 番地 1 3

貸借対照表

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
【流動資産】	【24,781,850】	【流動負債】	【15,232,892】
現金及び預金	17,908,286	買掛金	2,233,888
売掛金	512,074	受託未払金	3,346,682
商品	1,512,621	未払金	7,148,801
原材料	924,836	預り金	39,521
貯蔵品	1,107,503	預り敷金	150,000
立替金	104,204	法人税等充当金	213,200
未収入金	2,712,326	未払消費税	2,100,800
【固定資産】	【6,940,229】	【固定負債】	【2,000,000】
(有形固定資産)	(6,368,654)	長期借入金	2,000,000
建物	4,938,896	負債合計	17,232,892
建物付属設備	541,228	(純資産の部)	円
車両運搬具	2	【株主資本】	【14,489,187】
工具器具備品	681,996	[資本金]	[36,000,000]
一括償却資産	206,532	[利益剰余金]	[△21,510,813]
(無形固定資産)	(568,575)	利益準備金	9,000,000
ソフトウェア	568,575	(その他利益剰余金)	(△30,510,813)
(投資その他資産)	(3,000)	繰越利益剰余金	△30,510,813
出資金	3,000	(うち当期純利益)	(3,017,630)
		純資産合計	14,489,187
資産合計	31,722,079	負債・純資産合計	31,722,079

損 益 計 算 書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

科 目	金	額
【売上高】		円
売店売上	141,524,935	
市事業委託料等	4,378,807	
レストラン売上	42,041,381	
温泉売上	39,544,474	227,489,597
【売上原価】		
期首棚卸高	2,427,063	
仕入高	99,985,108	
材料費	18,361,771	
合計	120,773,942	
期末棚卸高	2,437,457	118,336,485
売上総利益		109,153,112
【販売費及び一般管理費】		107,450,543
営業利益		1,702,569
【営業外収益】		
受取利息	3,661	
雑収入	1,538,801	1,542,462
【営業外費用】		
支払利息・割引料	15,129	
雑損失	1,650	16,779
經常利益		3,228,252
税引前当期純利益		3,228,252
法人税等充当額		210,622
当期純利益		3,017,630

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	4,071,100	
給 料 手 当	33,888,622	
福 利 厚 生 費	6,152,205	
雑 給	6,922,832	
シ ル ハ - 委 託 費	3,023,171	
広 告 宣 伝 費	3,886,785	
運 賃	105,909	
燃 料 費	7,528,657	
衛 生 費	6,934,981	
一 括 資 産 償 却 費	103,226	
水 道 光 熱 費	16,595,413	
会 議 費	57,190	
事 務 費	1,472,413	
消 耗 品 費	4,865,728	
地 代 家 賃	158,100	
支 払 保 險 料	438,770	
修 繕 費	886,975	
租 税 公 課	4,505,000	
減 価 償 却 費	1,023,334	
接 待 交 際 費	426,210	
旅 費 交 通 費	146,830	
通 信 費	536,965	
支 払 手 数 料	2,342,682	
貸 借 料	850,756	
諸 会 費	272,000	
購 読 費	24,292	
雑 費	230,357	
合 計		107,450,543

株主資本等変動計算書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日
(単位 円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
当期首残高	36,000,000			9,000,000	△ 33,528,443		11,471,557		11,471,557	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純利益					3,017,630		3,017,630		3,017,630	
当期変動額合計					3,017,630		3,017,630		3,017,630	
当期末残高	36,000,000			9,000,000	△ 30,510,813		14,489,187		14,489,187	

	利益剰余金の内訳				利益剰余金合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	9,000,000			△ 33,528,443	△ 24,528,443
当期変動額					
剰余金の内訳科目間の振替					
剰余金の配当					
当期純利益				3,017,630	3,017,630
当期変動額合計				3,017,630	3,017,630
当期末残高	9,000,000			△ 30,510,813	△ 21,510,813

個別注記表

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・原材料・貯蔵品 …… 最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成 10 年 4 月 1 日以後に取得した建物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

(3) 収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

(4) 消費税の会計処理

税込方式で計上している。

2 貸借対照表等に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 33,117,927 円

3 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 720 株

当事業年度末日における自己株式の数 0 株

4 一株当たり情報に関する注記（平成 28 年 3 月 31 日現在）

純資産額 20,213 円 87 銭

当期純利益 4,191 円 15 銭

監 査 報 告

私達監査役は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第22期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本変動計算書、個別注記表、事業報告および付属明細書を監査しました結果、適正かつ正確であることを認めます。

平成28年 6月 9日

監 査 役 井 上 隆 俊

監 査 役 廣 田 勝 彦

報 告 書

別紙（平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第22期事業年度の
監査報告）のとおり報告致します。

平成28年6月23日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 笠原 泰藏

専務取締役 久田 喜三郎

取締役 太田垣 秀典

取締役 小田根 厚芳

取締役 和藤 久喜

取締役 北村 豊治

第23期（次期）事業計画及び収支計画

事業計画

2016年度の関西経済は、消費税率の引き上げが2017年4月から2019年10月に延期されたため、税率引き上げ前の駆け込み需要ないものの、実質所得の緩やかな改善により個人消費がプラスに寄与するほか、住宅投資、設備投資もプラスに寄与し、小幅ながらプラス成長となると見込まれています。

「道の駅」は発足から23年。2016年4月現在で昨年から20駅増え1,079駅。5月にはさらに14駅増え1,093駅となります。地元商店やスーパー等が閉店に追い込まれる中、地方創生や生活の基盤等として、なくてはならない施設となっています。

神鍋高原では、6月にフランス発祥のアウトドアパーク、「フォレストアドベンチャー奥神鍋」が新たにオープンし、体験スポットとして注目されています。「神鍋温泉ゆとろぎ」との協力で、相乗効果を高めます。

イベントでは、9月に、4年ぶりに打ち上げ花火が復活する「第38回神鍋火山まつり」が計画されていますが、道の駅「神鍋高原」駐車場にも「よさこい踊り」のセカンドステージが配置され、集客に期待がもてます。

当社では、事業推進の柱に“神鍋火山群がもたらした財産”神鍋高原野菜に焦点を置き、神鍋高原キャベツ・神鍋スイカ等を中心に商品開発やイベント開催などによる事業展開を図ります。

また、神鍋線200円バス利用促進を兼ねたビアナイト企画も趣向を凝らし、男子会編BBQ・女子会編美容鍋など年4回イベントを開催し、地域との良好な関係づくりに取り組んでまいります。

温泉部門は収支改善・集客増を最優先課題とし、原価意識を高めるとともに、利便性の向上を図り、お客様との良好な関係を重視した取り組みを行います。

これらの取り組みを周知徹底するため、引き続き「神鍋ほっこり通信」を毎月発行するとともに、ブログ・フェイスブック等のSNSやTV局・新聞各社等に積極的に情報提供をします。

以上のような活動により、地域と共に創る個性ある道の駅を目指し、地域の話や賑わいの中心的存在として、地域を元気に、その具現化に向け取り組んでまいります。

予定損益計算書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

科 目	金	額
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	227,200,000	
受 託 料 等	4,400,000	
		231,600,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	2,437,000	
材 料 費	18,500,000	
仕 入 高	102,000,000	
合 計	122,937,000	
期 末 棚 卸 高	2,500,000	120,437,000
売 上 総 利 益		111,163,000
【販売及び一般管理費】		109,270,000
営 業 利 益		1,893,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	1,000	
雑 収 入	1,400,000	1,401,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等	10,000	
雑 損 失	10,000	20,000
経 常 利 益		3,274,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	4,200,000	
給 料 手 当	35,000,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,300,000	
雑 給	7,000,000	
シ ル パ - 委 託 費	3,000,000	
広 告 宣 伝 費	3,500,000	
運 賃	100,000	
燃 料 費	7,500,000	
衛 生 費	7,000,000	
水 道 光 熱 費	16,500,000	
会 議 費	100,000	
事 務 費	1,500,000	
消 耗 品 費	5,000,000	
地 代 家 賃	160,000	
支 払 保 険 料	400,000	
修 繕 費	1,300,000	
租 税 公 課	4,700,000	
減 価 償 却 費	1,000,000	
接 待 交 際 費	340,000	
旅 費 交 通 費	200,000	
通 信 費	500,000	
支 払 手 数 料	2,500,000	
貸 借 料	920,000	
諸 会 費	300,000	
購 読 費	50,000	
雑 費	200,000	
合 計		109,270,000

報告第21号

株式会社シルク温泉やまびこ第12期の決算及び第13期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成28年9月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

1 事業の概要と成果

今期も引続きコンサルタント会社(株式会社KBS創研)の指導の下にモニタリング調査を行い経営改善計画の確実な検証を行いました。活動としては毎月1回の経営会議、営業会議、温泉課会議、毎週1回の課長会議を継続させ社員全体の意思統一に取り組みました結果下記のようになりました。

なお、今期後半から来期前半にかけ豊岡市による当ホテル館内の大幅な改修工事が行われています。

全施設の利用者数は179,263人、前期比101.0%、売上額375,638千円、前期比105.0%となり、来客数及び売上額を伸ばすことができました。

各部門の利用者数は、宿泊・休憩部門17,405人、前期比106.5%、温泉部門では159,438人、前期比100.4%、自然の郷では2,420人、前期比100.4%となりました。

また、これに伴って売上高は目標額373,000千円に対し、375,638千円、目標比100.7%(前期対比では105.0%)18,031千円増となり、部門別の売上額は、宿泊部門177,432千円(前期比107.3%)、温泉部門87,656千円(前期比103.9%)、売店部門63,866千円(前期比100.8%)、食堂喫茶部門27,351千円(前期比96.0%)、自然の郷部門7,842千円(前期比98.0%)となりました。

この増加の要因として内部的には経営指導の基に社員全員が同じ方向に向かって売上をあげられた事、人件費をはじめ経費を節約し、販売費及び一般管理費を前年以下にできた事が挙げられます。外部的には今期も灯油の単価が下がったことも大きな要因となっております。

損益状況は、営業利益746千円、営業外収益6,355千円となり、今期経常利益は7,101千円、税引後の当期純利益は6,886千円でした。

営業面におきましては今期も郷路岳への雲海ツアーなどを行い、リピーターには定期的にダイレクトメールの送付、旬の企画はネットを活用しお手ごろなプランを提供し宿泊増を図りました。

今期後半には館内の改修工事が始まり通常営業が困難な状況下、売上確保のため限られたスペースを最大限に利用することで休業予定の売店営業も行う事ができました。

株主様を始め関係者皆様方の暖かいご支援、ご協力をいただき役員・社員日々業務に取り組みました。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第10期	第11期	第12期
宿泊部門	159,702	165,415	177,432
売店部門	57,190	63,358	63,866
食堂部門	27,659	28,502	27,351
温泉部門	82,311	84,399	87,656
自然の郷部門	6,963	7,998	7,842
フィールドゴルフ部門	471	400	548
業務委託部門	7,568	7,535	7,504
自販機売上			3,439
合 計	341,864	357,607	375,638

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第10期	第11期	第12期
経 常 利 益	△ 9,567	1,255	7,101
当 期 純 利 益	△ 9,781	1,040	6,886
総 資 産	89,180	93,349	94,852
純 資 産	67,809	68,849	75,735

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	奥 田 清 喜
取 締 役	植 田 安 雄
取 締 役	森 友 敏 則
取 締 役	永 井 辰 正
取 締 役	谷 岡 慎 一
監 査 役	井 上 隆 俊
監 査 役	田 村 新 二

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	23	男性 10人、女性 13人
パート	2	男性 1人、女性 1人
計	25	男性 11人、女性 14人

決 算 報 告 書

第 12 期

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸借対照表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

平成28年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 88,118,313】	【流動負債】	【 19,117,243】
現金及び預金	79,433,461	買掛金	7,896,622
売掛金	3,686,279	未払金	8,577,360
商品券	1,500	前受金	92,000
商品	836,388	預り金	73,161
貯蔵品	1,440,388	法人税等充当金	211,500
未収入金	2,701,897	未払消費税	2,266,600
仮払金	18,400	負債の部計	19,117,243
【固定資産】	【 6,733,809】		
(有形固定資産)	(5,342,991)		
建物	1,537,482		
建物付属設備	1,875,059	純資産の部	
構築物	68,992	【株主資本】	【 75,734,879】
車両運搬具	399,332	[資本金]	[50,000,000]
工具器具備品	357,934	[利益剰余金]	[25,734,879]
一括償却資産	1,104,192	利益準備金	12,500,000
(無形固定資産)	(740,818)	(その他利益剰余金)	(13,234,879)
ソフトウェア	740,818	別途積立金	5,000,000
(投資その他の資産)	(650,000)	繰越利益剰余金	8,234,879
出資金	650,000	(うち当期純利益)	(6,885,901)
		純資産の部計	75,734,879
資産の部計	94,852,122	負債・純資産の部計	94,852,122

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成27年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成28年 3月31日

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	177,431,723	
売 店 売 上	63,865,806	
食 堂 売 上	27,351,365	
温 泉 売 上	87,655,990	
自 然 の 郷 売 上	7,842,000	
フ ィ ー ル ト 売 上	547,800	
業 務 委 託 売 上	7,504,485	
自 販 機 売 上	3,438,718	375,637,887
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	984,565	
仕 入 高	130,518,960	
材 料 仕 入	7,399,019	
飲 料 仕 入	7,566,400	
合 計	146,468,944	
期 末 棚 卸 高	836,388	145,632,556
売 上 総 利 益		230,005,331
【販 売 費 及 び 一 般 管 理 費】		229,259,065
営 業 利 益		746,266
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	17,439	
雑 収 入	6,337,411	6,354,850
経 常 利 益		7,101,116
税 引 前 当 期 純 利 益		7,101,116
法 人 税 等 充 当 額		215,215
当 期 純 利 益		6,885,901

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成27年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成28年 3月31日

科 目	金 額
役員報酬	3,246,000
給料手当	70,639,426
法定福利費	10,818,871
福利厚生費	2,712,163
ソルハ - 委託費	12,898,396
広告宣伝費	7,327,228
運賃	113,559
サービス費	1,552,915
燃料費	15,283,370
衛生費	16,412,762
リース料	462,240
外注費	4,924,800
水道光熱費	31,921,627
事務費	1,861,679
消耗品費	4,653,738
支払保険料	1,322,534
修繕費	15,959,701
租税公課	9,383,752
減価償却費	1,598,003
一括償却資産償却額	671,286
接待交際費	958,355
旅費交通費	81,330
通信費	1,971,521
支払手数料	5,200,952
賃借料	3,289,598
諸会費	284,940
コンサルタント料	1,695,600
購読費	205,983
雑費	1,806,736
合 計	229,259,065

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ

(単位：円)
自平成27年 4月 1日
至平成28年 3月31日

	株 本		資 本			株 主 資 本		評 価 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	株 本 準 備 金	株 本 剰 余 金	株 主 資 本 合 計	株 主 資 本 合 計				
当期首残高	50,000,000			12,500,000	68,848,978	68,848,978			68,848,978	
当期変動額										
当期純利益										
当期変動額合計										
当期末残高	50,000,000			12,500,000	75,734,879	75,734,879			75,734,879	
					6,885,901	6,885,901			6,885,901	
					6,885,901	6,885,901			6,885,901	
					13,234,879	13,234,879			13,234,879	

	利 益 剰 余 金 の 内 訳		利 益 剰 余 金 合 計
	利 益 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
当期首残高	12,500,000	1,348,978	18,848,978
当期変動額			
当期純利益		6,885,901	6,885,901
当期変動額合計		6,885,901	6,885,901
当期末残高	12,500,000	8,234,879	25,734,879

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 24,842,333 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

平成28年6月23日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の積立額 ……………7,000,000 円

次期繰越利益剰余金 ……………1,234,879 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 75,734 円 87 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… 6,885 円 90 銭

監査報告書

監査のとき 平成 28 年 5 月 27 日(月)午前 10 時から
ところ シルク温泉やまびこ 2 階研修室
監査人 井上監査役、田村監査役
説明者 奥田代表取締役、清水課長、羽尻課長

監査事項

(株)シルク温泉やまびこの第 12 期事業年度関係書類
(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日)

提出資料

決算報告書 (貸借対照表、損益計算書、利益処分案)
営業報告書
預貯金通帳及び関係付属書類

上記について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

監査役 井上 隆俊

監査役 田村 新二

第 13 期事業計画案及び予定損益計画案

1. 事業計画案

利用客より要望の高かった個室ダイニングの新設、本館の洋室仕様、喫煙室の新設、フロントの一元化に加えて、経年劣化による外壁の塗装工事などの改修工事は平成 28 年 1 月より着工し、来たる 7 月 30 日のグランドオープンに向けて順調に進行しております。リニューアルオープン後は、ハード面・ソフト面とも顧客満足度を高め、さらなる収益拡大につなげていくよう事業戦略を構築してまいります。

今期予算計画は、改修期間内(4 月～7 月)の収支は厳しいものの、リニューアルオープン後の改善により、総売上 391,000 千円(前期実績 375,640 千円 15,360 千円増 104.1%)、営業利益は▲1,710 千円(前期 750 千円 960 千円減)、経常利益は 2,790 千円(前期 7,100 千円 ▲4,310 千円)を目指して取り組んでまいります。

今期はコンサルタント契約(株式会社 KBS 創研)を解消し、正規社員として総支配人を採用し、4 月 1 日より新体制を構築して事業改善に取り組んでおります。改善内容のポイントは、①活力ある組織作り②守りの姿勢から攻めの姿勢への変革③収益構造の改革です。

第 13 期の予定損益計画案に挙げた目標を達成するための最重要施策として、組織の再編成も視野に入れ、部門長に予算達成の手法を指導して成長を促します。結果に対して原因を追求するとともに、改善及び取り組みを明確にして予算達成を実現してまいります。

具体的な取り組みとして、宿泊では販路を多様化して稼働率を上昇させるとともに、公共の宿として手頃でありながら、機能向上にあった客室価格を設定して増収に努めます。売店では”五感で楽しめるお店”をテーマにして、但馬全域の美味しい魅力的な商品を充実させていきます。食事処では地域色の強いメニューに一新し、但馬の美味しいお店としてブランドを構築してまいります。喫茶コーナーでは喫茶利用だけでなく、イベントブース等での賃貸収入を視野に入れて取り組んでまいります。温泉では近年伸び率の高い会員カード組織との契約締結を推進し、利用頻度の高い京阪神や播州エリアからの集客を強化します。全体の事業戦略としては、各部門の消費が高まるシステムを構築するとともに、館内の消費循環を促していきます。

費用面では、リニューアルに伴うガス代の削減や従業員の生産性アップに伴う効果で人件費の抑制が実現できると考えております。また、本年 4 月からの電力自由化により、電気料金の削減を実現します。温泉部門では、運営システムの効率化と費用削減を実現させるため、温浴運営の専門家の助言を仰ぎ、販売管理費の削減に努めます。また今後利用増が確実とされるクレジットカードの手数料減額交渉を行います。

世界経済が不安定な状況のなか、光熱費の大幅な値上げの懸念や下水道料金の値上げが懸念されますが、役員・社員一丸となり安定した経営を目指して取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2. 予定損益計画案

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月 31日

科 目	金 額	
【経常損益の部】		千円
(営業損益の部)		
【売上高】		
売上高	391,000	391,000
【売上原価】		
期首棚卸高	836	
仕入高	152,000	
合計	152,836	
期末棚卸高	636	152,200
売上総利益		238,800
【販売費及び一般管理費】		240,510
営業利益		△ 1,710
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	10	
雑収入	4,490	4,500
経常利益		2,790

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬	給 料	手 報	当 酬	3,270
法 定 福 利	福 厚	利 生	費 費	74,000
福 利	一 委 託	宣 伝	費 費	11,470
シ ル バ	告 宣	ス	賃 賃	2,880
広 告	一	ビ 料	費 費	7,900
運 一	ス	生	費 費	8,730
サ 燃	ス	注	賃 賃	120
衛 一	道 議	光 熱	費 費	1,550
リ 外	道 議	研 修	費 費	16,000
水 道	議 務	品 險	費 費	18,200
会 事	耗 保	公 却	料 料	80
消 支	払 繕	交 際	費 費	4,930
修 租	税 公	交 際	費 費	32,420
減 接	価 償	通 通	費 費	100
旅 通	待 費	信 手	費 費	1,940
支 賃	払 借	数	料 料	5,030
諸 購	會 誂		費 費	1,330
貸 倒	引 引	金 戻	入 入	21,850
貸 倒	引 引	金 戻	入 入	9,680
雜 合			費 計	2,150
				1,200
				240
				2,320
				6,970
				3,300
				300
				200
				-
				-
				2,350
				240,510